



自民党・無所属 大阪府議団だより

花谷充愉 議員が府議会で一般質問

花谷議員は、6月2日に開かれた府議会の本会議において、都島区にある「大阪ふれあいの水辺」の活用状況や淀川大堰の閘門設置、大阪の経済や法定協議会について質問しました。

はなやみつよし
花谷 充愉

プロフィール 大阪市都島区選出

昭和38年3月9日生まれ。同志社大学社会学科卒。衆議院議員秘書、自民党府議団政調会長、幹事長、第111代府議会副議長。現在、府議団幹事長。大阪府議会議員5期、府議会総務常任委員。<http://www.hanaya-mitsuyoshi.jp/>



■ 大阪ふれあいの水辺づくり事業

都心部のオアシス、水辺の活用状況は？

Q. 花谷議員 私の地元、都島区の大川沿い毛馬桜之宮公園の中には「大阪ふれあいの水辺^(※)」があり、都心部で河川に直接触れられる貴重なオアシスとして人々に親しまれ、憩いの場となっている。ビーチバレーやイベントも開催されているが現在充分活用されているか。
(※大阪府が整備し平成23年夏に砂浜部分が完成した。)

A. 府民文化部長 水辺や砂浜を生かしたにぎわいづくりで子どもの水遊びや部活動、サッカーなど一般の利用も進み、今年ビーチバレーはアジアツアーも予定されています。

水質浄化施設は本当に必要か

Q. 花谷議員 水辺には二つの水質浄化施設が設置されているが、効果の範囲は施設付近に限定されており、大川も十分きれいな水が流れているため、浄化を行う必要はない。上流側エリアの整備で自然の浄化機能を高めることができれば浄化施設に頼らず良質な水質を保てるのではないか。

A. 都市整備部長 大川の水は良質な水質ですが、浄化施設によって水の透明度をさらに向上させることで利用者により快適な水辺空間の創出を図っております。

▶ 良好な大川の水質や浄化施設の目的の明示を要望！

花谷議員
〈意見〉

浄化施設の設置は利用者に大川の水質が悪いとの誤解を与えているのではと懸念があったが、水質は良好で施設が水の透明度をあげるためのものならば、看板を設置して寝屋川流域の水質状況や施設の設置目的をわかりやすく明示するべきである。府民が集う水辺のメリットを生かし、大川や寝屋川の水質改善状況のPRに努めるよう切に願う。

淀川大堰 | 閘門設置を国任せにせず、府も取り組むべき

Q. 花谷議員 市内河川の船舶航行が増加しており^(※)、淀川大堰の上下流の船舶航行を可能とする新たな閘門を設置し、安全性の向上や舟運ルートの開発が重要だ。府の取り組みはどうか。

(※既存の淀川大堰で淀川の上下流が分断されているため、淀川を船舶で下ることが不可能となっており、淀川を下る船舶の全ては毛馬の閘門を通じて大川に入り大阪市内へと航行している。)

A. 都市整備部長 淀川大堰の閘門設置は国が策定した淀川水系河川整備計画に位置づけられております。府では舟運の活性化を目指す中で、ヒアリングも実施するとともに、国の検討状況を見極めてまいります。

大阪の経済 | このままでは不十分！時流に合わせた成長戦略を

Q. 花谷議員 大阪の経済は世界経済の回復や円安等を背景に輸出や消費関連が持ち直し、有効求人倍率も上昇傾向にある。大阪経済全体としてはゆるやかに回復と発表されているが、中小企業は依然として厳しい状況だ。府として大阪経済の回復にどのような仕掛けや施策を実施し効果をもたらしたのか。

A. 政策企画部長 府では成長戦略に基づき、都市魅力の向上、観光客受け入れ環境整備など集客力を図り、雇用機会の確保や新事業に挑戦する企業支援などの施策を展開した結果、大阪経済全体は回復基調にあり、特にインバウンド、雇用創出、開業事業者数が伸びています。

Q. 花谷議員 このままでは十分ではない。私自身は問題意識を持っている。東京都では法人事業税の軽減等で国際金融の拠点形成を目指し、検討を進めている。仮にこれが実現すれば、今以上に金融、経済の東京への集中が懸念される。このような動きの中、大阪の成長に向けた取り組みはしているのか。

A. 政策企画部長 万博の誘致やIR立地推進など、今後、さらなる成長を遂げるため、年度内には新たな大阪の成長戦略を取りまとめてまいります。

法定協議会

意味のない特別区設置協定書作成への議論

Q. 花谷議員 大阪では景気対策、成長戦略が最優先されるべき。にもかかわらず、知事は住民投票で否決された都構想について、再び特別区設置協議会の規約案を提案している。特別区設置には維新以外の会派が反対の中、知事が目的にしている特別区設置協定書の作成の議論は意味のない状況である。

A. 副首都推進局長 大阪のためには大都市制度の改革が必要であり、現行制度で可能な特別区と総合区の両制度について検討を進めていくことが必要であります。

優先すべきは 万博誘致 松井知事に「休戦」提案

Q. 花谷議員 万博の誘致に向け、一致団結しなければならない時に、意見の対立が先鋭化する大阪市廃止の議論を進めることには大いに疑問だ。府民、市民、地域、家族の中でも議論が分かれ、分断(二分)するようなことを本当にやっていくのか。万博の決定が出る(2018年11月)まで一旦休戦をして、大都市制度の議論を凍結するという提案はどうか。

A. 松井知事 万博を人質にとるのはやめてくださいよ。万博はみんな一緒にやればいいじゃないですか。大阪都構想の議論をしながら万博にも協力してください。

花谷議員 万博を人質にとっているのではなく、万博を最優先して、休戦をと提案している。